

手を加えて

こんにちは。

朝倉では、やっと秋らしい気温になって、あちこちで木々が少し色づき始めました。今年は柿が熟れるのが早いようで、祖父母の家の柿もどんどん色づいてきています。

柿をそのまま食べるのも美味しいのですが、柿とオレンジ、ヨーグルトを混ぜてムースにしたものだったり、熟れた柿を使った寒天や酢の物など、色々な食べ方を教えて頂く機会がありました。

今年は少し手を加えて、普段と違う柿の食べ方をして、一味違う秋を味わってみるのはいかがでしょうか。

農泊研修会

先日は県の事業で、福岡でグリーンツーリズムをしている方やこれからされる方々20名を朝倉に招待し、日帰りの研修会を行いました。

実際に普段子どもたちを受け入れているご家庭に行っでどんなことをしているのか、体験してもらいました。

あるご家庭に伺うと、時間がお昼時だったこともあり、皆さんで昼食の準備をしていました。(普段はバーベキューなど子どもでも簡単に手伝えることをしているそうです。)

食事の間は子どもたちが来た時



猫も私も私が出した炬燵も出れなくなりました。うめ

の様子や受け入れをする上で不安なこと、楽しいこと等、様々な意見交換ができ、参加された方からは「どんな体験をさせればいいのか悩んでいたので参考になった。」などの声が上がっていました。

食事の後は、道の駅などに出荷する柿作りを体験。

「子どもたちには30分で終わる体験がいい」というお話もありました。柿作りの後はお庭を散策しながら、植物の名前を教してもらったり、お庭にあったニッケの根っこをかじらせてもらったりと、様々な体験をされていました。皆さんが楽しんでいる姿を見ながら、子どもたちが楽しそうに過ごしている様子が、想像できました。



そんな中でも特に印象に残ったことは、受け入れ家庭の方が言っていた「一番は自分が楽しみながらすること」という、一言でした。

実際に長く農泊をされている方は楽しいからしての方が多く、本当にそうだなと思ったのと同時に、改めてグリーンツーリズムは来る側も受け入れる側も元気になる活動でもあるんだと感じました。

では、今回はここまで。

また次回！





## 受入れ家庭大募集

農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集しています！

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的に行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力を一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q. 農家じゃないけどいいの？

A. 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

Q. 料理はどうすればいいの？

A. 特別な料理ではなく普段食べている料理を子ども達と一緒に作って食べてあげてください。食事も立派な体験活動の一つになります！アレルギーを持つ生徒がいる場合は、事前に事務局より連絡を行い対応します。

Q. ボランティアなの？

A. 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合（一泊二日二食・半日農業体験付）

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q. 一回に何人受け入れて何泊ぐらい受け入れるの？

A. 一軒の受け入れは3〜5人位を予定しています。が、事前にご相談させて頂きます。教育旅行などの受け入れで多いのは一泊となっています。

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話・0946・24・6758